

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	早稲田美容専門学校
設置者名	学校法人小倉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容科 昼間部 (2年生)	夜・通信	2,010 時間	80×2=160 時間	
	トータルビューティ科 (2年生)	夜・通信	1,700 時間	80×2=160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。(掲載： https://www.wasedabiyo.ac.jp/outline/)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	早稲田美容専門学校
設置者名	学校法人小倉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

(掲載：<https://www.wasedabiyo.ac.jp/outline/>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2022.1.13 ～ 2026.1.12	法務
非常勤	株式会社役員	2022.1.13 ～ 2026.1.12	法人運営の チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	早稲田美容専門学校
設置者名	学校法人小倉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>美容科 昼間部 (2年制)、トータルビューティ科 昼間部 (2年制))</p> <p>【作成について】 各授業科目については、毎年度、美容師養成施設、衛生専門課程の学内の職員による会議により、授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき、各授業を担当する教員、非常勤講師により、作成を行っている。</p> <p>学内の教員用内規(シラバス作成の方法と手引き)の中で、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【時期について】 翌年度の講義予定(授業計画)は12月～1月に担当教員が作成し、3月の職員の会議の議案で翌年度の事業計画が承認されることで正式決定する。3月中旬に、翌年度分のシラバスを公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>掲載： https://www.wasedabiyo.ac.jp/outline/</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則の細則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験（レポートも含む）により成績評価を行っている。

(参考)

細則第7条 学習評価は次のとおりにする。

- 1 評価は100点法による。
- 2 各授業教科の定期・卒業試験の合格点は、100点満点換算により60点以上とする。
- 3 授業教科の評価は、定期試験の平均得点、課題等の提出資料、平常の学習態度を総合的に勘案して行う。
- 4 学習中の授業教科の出席率が学科95%未満、実習95%未満の者は、学期の成績を記録しない。ただし、補習授業により出席率が学科95%、実習95%を超えたときは、学期の成績とすることができる。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(参考) 細則第7条 学習評価は次のとおりにする。

- 1 評価は100点法による。
- 2 各授業教科の定期・卒業試験の合格点は、100点満点換算により60点以上とする。
- 3 授業教科の評価は、定期試験の平均得点、課題等の提出資料、平常の学習態度を総合的に勘案して行う。
- 4 学習中の授業教科の出席率が学科95%未満、実習95%未満の者は、学期の成績を記録しない。ただし、補習授業により出席率が学科95%、実習95%を超えたときは、学期の成績とすることができる。

5 評価並びに評定

評価(点)	100~80	79~70	69~60	59以下
評定	A	B	C	D

当校では、特進クラスの候補者選定や独自支援金、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。

学業成績は、授業科目ごとに行う(定期試験、実技試験等)によって評価される。

当校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100~80をA、79~70をB、69~60をC、59点以下をD不合格として、成績が通知される。

成績評価方法については、学則細則をHPで公開するほか、入学時オリエンテーションで入学生徒等に通知している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

掲載:

<https://www.wasedabiyo.ac.jp/outline/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

早稲田美容専門学校は、美容師、美容部員等の美容を主とする職業専門家を育成し、その意義をもって社会に貢献することを目的としている。

卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細についてはディプロマ・ポリシーをはじめ、学則細則、学生生活の手引き等に記載している。

卒業認定については、卒業期の学生について2月中旬に行う卒業判定会議における修学状況や学費納付状況等に関する協議をもとに、事前の判定を行っている。

当校ではディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）を策定し、HPに公表している。

細則第11条（進級及び卒業の認定）

1 進級及び卒業の認定は、所定の学科及び実習のうち、修得すべき教科課目の単位を認定された者について、素行状況を加味し、総合して校長が認定する。

2 各教科の修了は、次のとおりとする。

(1)教科課目の定期試験に合格すること。

(2)教科課目の履修時間が、別表-1に定める授業時数の学科95%・実習95%以上であること。ただし、この出席時間は補習時間を含むものとする。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

掲載：

<https://www.wasedabiyo.ac.jp/outline/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	早稲田美容専門学校
設置者名	学校法人小倉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.wasedabiyo.ac.jp/outline/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	540 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1470 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
560人		504人	0人	18人	14人	32人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 定期的に本人または保護者に連絡を取るなどし、学生には補習や相談等を通じて担任が個別に指導している

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
236 人 (100%)	0 人 (0%)	225 人 (95.3%)	11 人 (4.7%)
（主な就職、業界等） 美容室、ネイルサロン、エステサロン、ビューティーアドバイザー等			
（就職指導内容） 就職担当教員を配置し、求人票の管理や就職相談を行っている。また、卒業生や企業担当者とのコネクションを構築し、学生個々に興味あるサロンの情報提供を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師免許受験資格、小倉・桔梗流（着付け）、WBC 認定フェイシャルエステティシャン、ビジネス能力検定、ピアヘルパー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
535 人	40 人	7.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気・体調不良、経済的な理由、就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を採用し、欠席・遅刻・早退が目立つ生徒など個別相談に応じている。また、学生へのカウンセリングを通じた支援も同時に行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門	トータルビューティ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	500 単位時間/単位	単位時間/単位	1200 単位時間/単位	単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		58人	1人	3人	8人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 定期的に本人または保護者に連絡を取るなどし、学生には補習や相談等を通じて担任が個別に指導している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	31人 (96.9%)	1人 (4.7%)
(主な就職、業界等) ネイルサロン、エステサロン、ビューティーアドバイザー、化粧品メーカー等			
(就職指導内容) 就職担当教員を配置し、求人票の管理や就職相談を行っている。また、卒業生や企業担当者とのコネクションを構築し、学生個々に興味あるサロンの情報提供を実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 小倉・桔梗流(着付け)、WBC 認定メイクアップ2級、ネイリスト検定3級、ビジネス能力検定、ピアヘルパー			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72 人	11 人	15.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、病気・体調不良、経済的な理由、就職		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を採用し、欠席・遅刻・早退が目立つ生徒など個別相談に応じている。また、学生へのカウンセリングを通じた支援も同時に行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科 (2年制)	200,000円	500,000円	800,000円	
トータルビューティ科 (2年制)	150,000円	500,000円	450,000円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価については、学校HPにて公開している。 https://www.wasedabiyo.ac.jp/outline/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 関連企業や卒業生を含む学校関係者評価委員会を組織し、教育内容や学校運営の改善、自己点検の客観性の担保および学校関係者との連携促進を目的として評価を行っている。評価結果は学内の教育内容検討会議にて報告・検討の上、改善計画を作成し、その後の教育活動と学校運営に活かしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容室運営企業 人事戦略部長	2024. 4. 1～2025. 3. 31	企業
美容室 サロンオーナー	2024. 4. 1～2025. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価については、学校HPにて公開している。 https://www.wasedabiyo.ac.jp/outline/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.wasedabiyo.ac.jp
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310400541
学校名 (〇〇大学 等)	早稲田美容専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人小倉学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		81人	73人	86人
内訳	第Ⅰ区分	51人	48人	
	第Ⅱ区分	17人	14人	
	第Ⅲ区分	13人	11人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)		—	—
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		—	—
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
	年間	前半期	後半期	0人
		0人	0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	—
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。